

アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬（ARB）フォーミュラリー

第1推奨	オルメサルタンOD錠 20mg
第2推奨	テルミサルタン錠 40mg
第3推奨	アジルサルタン錠 20mg
蛋白尿を伴う腎症患者	ロサルタンK錠 50mg
ARNI切替時	バルサルタンOD錠 40mg・80mg
推奨外	カンデサルタン錠 4mg・8mg

最大用量の40mgでは、他のARBより降圧効果が高いとの報告がある。
他剤で効果不十分な場合に使用を検討する。

「高血圧及び蛋白尿を伴う2型糖尿病における糖尿病腎症」適応あり

慢性心不全でアンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬(ARNI)を投与する場合、
ACE阻害薬又はARBから切り替えて投与する

「腎実質性高血圧症」
「軽症～中等症の慢性心不全(ACE阻害薬の投与が適切でない場合)」適応あり

※院内未採用のイルベサルタンからの切り替えは以下の換算表を参考にしてください。(換算量あくまで目安であり、個人により反応性は異なります。)
切り替え時には、適応症、相互作用、腎機能、アレルギーを確認し、切り替え前後には、血圧、血清K値、腎機能をモニターしてください。

薬品名	降圧作用比較(1日量)				
	10mg	20mg	20-40mg	40mg	
オルメサルタン	10mg	20mg	20-40mg	40mg	
テルミサルタン	20mg	40mg	40-80mg	80mg	
アジルサルタン		10mg	20mg	20mg	40mg
カンデサルタン	4mg	8mg	16mg※		
バルサルタン	40mg	80mg	160mg		
ロサルタン	25mg	50mg	100mg		
(院内未採用)イルベサルタン	50mg	100mg	200mg		

2022年12月作成：第1版

2023年9月作成：第2版

※本邦承認用量超過

日本赤十字社和歌山医療センター